

第21回
高校生ものづくりコンテスト
九州大会（2022長崎大会）

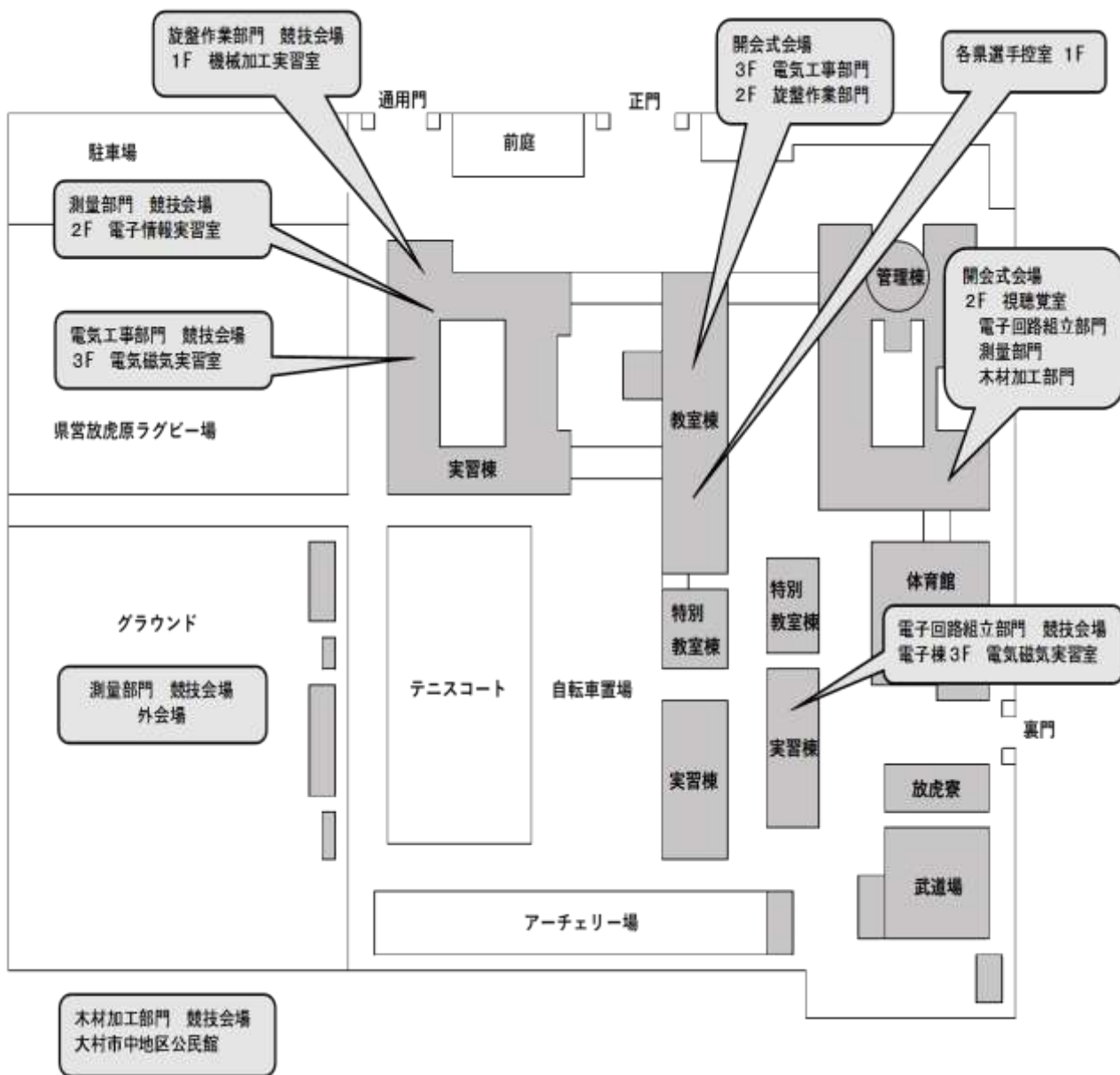
実施要項

（電気工事部門）

期 日 令和4年7月9日（土）～10日（日）

会 場 長崎県立大村工業高等学校

長崎県立大村工業高等学校 会場図



令和4年度第21回高校生ものづくりコンテスト九州大会(長崎大会)【電気工事部門】競技要項

1. 競技課題

- (1) 概ね、縦 1820 mm×1820 mm (床上約 260 mm)の垂直パネルに、「競技規則」に従い、「施工図」、および「施工条件」に示す配線工事を行う。
- (2) 公表されている令和3年度第一種及び第二種電気工事士技能問題を参考にした競技課題とし、「金属管工事」、「PF管工事」および「ケーブル工事」を行う。
- (3) ボックス内の結線方法、電灯の点滅方法は、競技当日に抽選で決定し、それ以外についても3ヵ所以内の課題を変更する。
- (4) 公平を期すため、修正競技課題は競技当日に配布する。

2. 競技時間 150 分(2 時間 30 分)で終了する。延長は認めない。

3. 施工条件

- (1) 電源は単相3線式 100/200[V]の回路とする。
200[V]回路は連用埋込接地極付コンセントとし、その他の回路は 100[V]回路とする。
※分電盤内の一次側配線は省略する
- (2) 電灯・パイロットランプ等の点滅方法
 - a) 展開接続図のとおり、3路スイッチ(イ)の2ヵ所で照明器具①、②、③が点滅し、3路スイッチ(ロ)の2ヵ所で照明器具④、⑤、⑥が点滅する。パイロットランプは異時点滅とする(抽選による変更あり)。
※Sの表示がついた3路スイッチに非接地側が必ず接続すること。
 - b) 4路スイッチ(ハ)により、照明器具②、⑤の点滅状態を切り替える。
- (3) コンセントは常時給電とする。
- (4) 指定寸法
 - a) 寸法原点は作業板に赤ピンを刺している(パネルに×印があり、その交点)とする。
 - b) 寸法原点を基準に、水平垂直となる基準墨を引く(枠を描いても構わない)。
 - c) 指定の寸法は、器具相互間、器具とボックス間及び管路、それぞれ中心の寸法とする。
 - d) 作業を行う上で書き入れた墨入れ線は消さずに残しておくこと。指定寸法以外に施工上必要と思われる補助墨は引いても構わない。
- (5) 分電盤
木板(縦 150 mm×横 150mm×高さ 12mm、四隅に取り付け用穴開け済φ4)に配線用遮断器、接地端子を取り付け、分電盤とする。
- (6) 配管・配線工事
 - a) 金属管及び金属製ボックスの接地工事は省略する。
 - b) 各箇所の曲げの内側半径は、施工図に従う。曲げ半径で指定がないものは、「電気設備技術基準とその解釈」に準ずる。
 - c) 同一管内には 100V 系と 200V 系は混在しないこと。
- (7) 電線(IV)の色指定
電源からの接地側電線にはすべて白色を使用し、接地線には緑色を使用する。100V 回路の電源から点滅器及びコンセントまでの非接地側電線には、すべて黒色を使用する。200[V]回路は赤色、黒色を使用する。その他の配線についての電線色は指定しない。
- (8) ケーブル配線工事
各箇所の 90 度曲げの内側半径は、施工図に従う。曲げ半径で指定がないものは、「電気設備技術基準とその解釈」に準ずる。
- (9) 電線・器具の配線接続
 - a) 接地側の電線は、器具の接地側端子に接続すること。接地端子(アース)への接続は E1、E2 のどちらを使用しても良い。
 - b) 電線の接続箇所をできる限り省略するため、素通し配線(未圧着配線)を行うこと。またボックス内の余長はとらなくても良い。

- c) ボックス内の接続は、リングスリーブ(E形)による圧着接続もしくは、差込形コネクタによる差込接続とする。ボックスA、Bの接続方法は、当日抽選にて決定するが、それ以外のボックス内の接続はリングスリーブによる接続とする。リングスリーブ(E形)による圧着接続では、電線端部のヤスリ掛けし端部を滑らかに処理して、所定の絶縁キャップを取り付けて絶縁処理を行うこと。
 - d) 各配線の電線条数は、最小条数とする。
 - e) 埋込連用配線器具は作業板(パネル)に対して縦付け施工とする。
- (10) 作業終了の要件
- a) 支給されたカバー類は、全て取り付けられていること。
 - b) 配線用遮断器、及び3路スイッチは「切」の状態としていること。4路スイッチは指定された点滅状態となるようにしておくこと。
(配線用遮断器の投入時に電灯が点灯しない状態であること)
 - c) 作業シートを剥がし、作業エリアを清掃し、工具・残材料及びゴミ類は工具搬出エリアに出しておくこと。
- (11) 作業終了宣言および計時
- ① 『ゼッケン〇〇番 作業終了しました。』と、後方の赤テープを超えて行うこと。
 - ② 計時は、作業終了宣言の文言を言い終えた時点で、競技終了とみなします。
- (12) 初期状態の確認
- ① スwitchの向きについては、選手、審査員立会いの下でドットシールを張り付けます。確認後、作業板(パネル)から離れてください。
- (13) その他
- 電線、サドル、ステッブル等は材料表による支給の範囲内で施工すること。

4. 場所

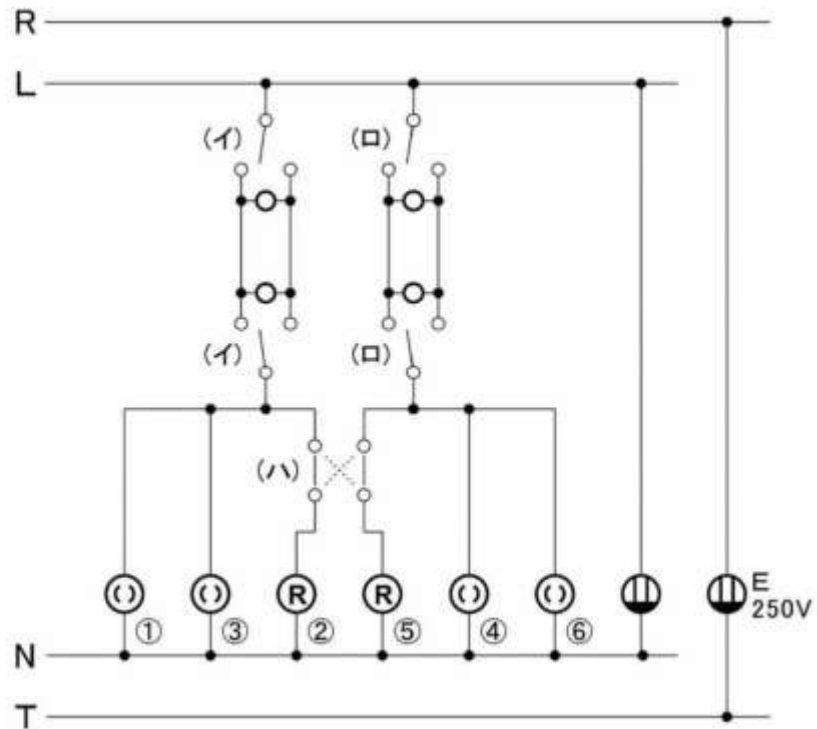
- ・ 電気工事部門受付 教室棟3階 化学工学科1年教室前廊下
- ・ 電気工事部門会場(開・閉会式会場) 教室棟3階 化学工学科1年教室
- ・ 電気工事競技会場 実習棟3階 電気磁気実習室

5. 日程

(電気工事部門)

	時間	内容	会場
7月9日 (土)	13:00~13:30	受付	長崎県立大村工業高等学校
	13:30~14:00	開会式	化学工学科1年教室
	14:00~16:30	打合せ・準備	電気工事部門競技会場
7月10日 (日)	7:30~ 8:30	受付	化学工学科1年教室前廊下
	8:30~ 9:30	準備	電気工事部門競技会場
	9:30~12:00	競技	
	12:00~15:30	審査・昼食	
	15:30~16:00	表彰式・閉会式	

【展開接続図】



4. 当日決定事項【抽選及び変更事項】

(1) 各ボックス内の接続方法【抽選】

I	A : リングスリーブ B : 差込型コネクタ
---	----------------------------

II	A : 差込型コネクタ B : リングスリーブ
----	----------------------------

(2) 電灯の点滅方法

3路スイッチ (イ)、(ロ) で点滅させる照明器具の組み合わせ【抽選】

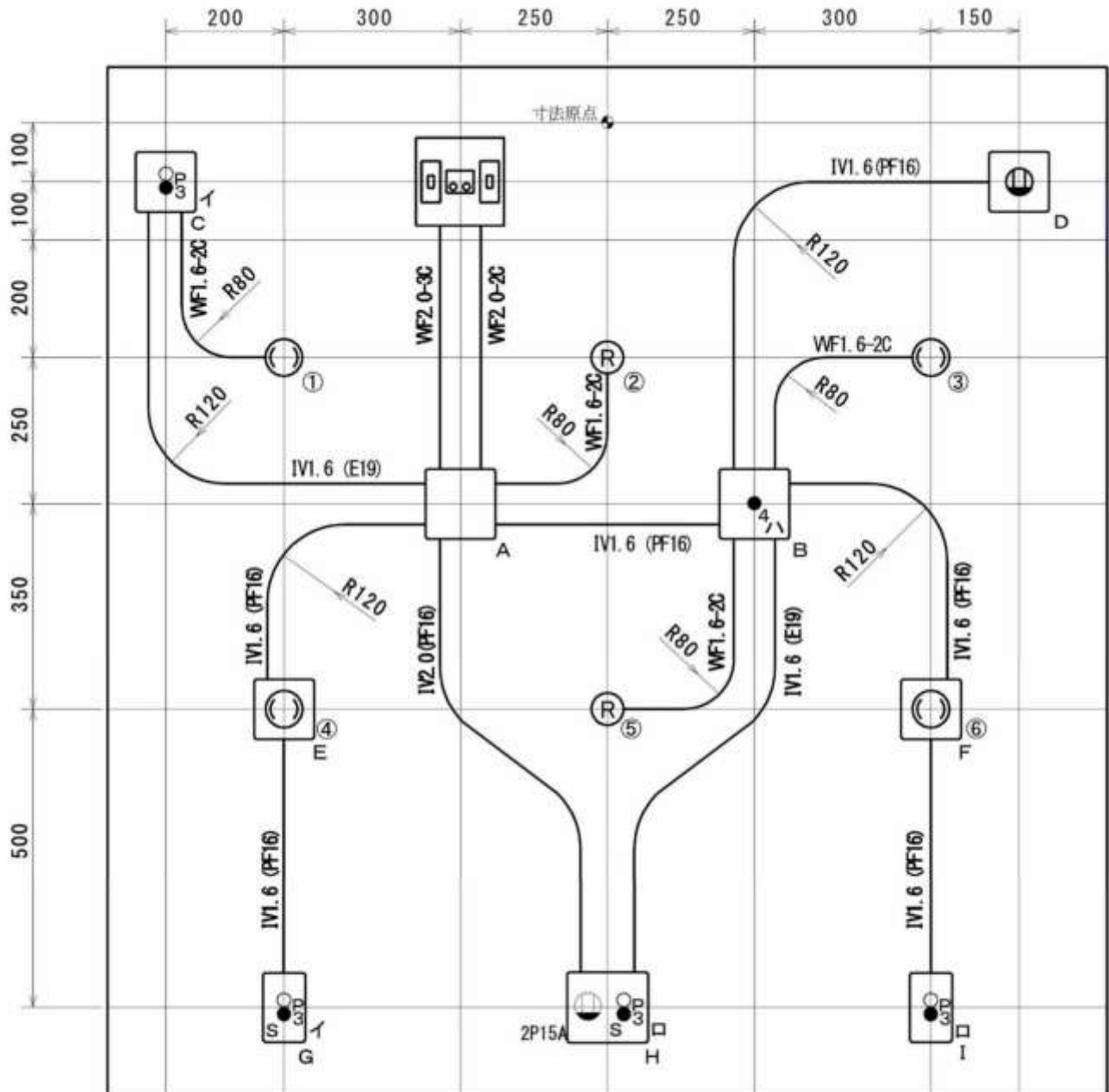
	パターン A	パターン B	パターン C
3路スイッチ (イ)	①・②・③	①・②・⑥	①・②・④
3路スイッチ (ロ)	④・⑤・⑥	③・④・⑤	③・⑤・⑥

・展開接続図で示している点滅方法は「パターンA」の例である。

(3) 課題当日変更

大会当日、3カ所以内の変更を行う。

【施工図】



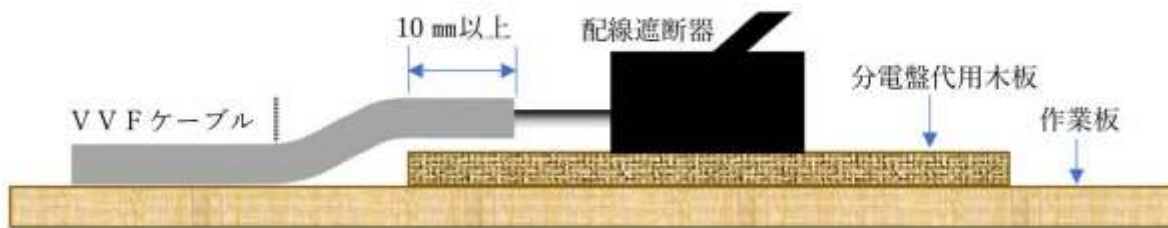
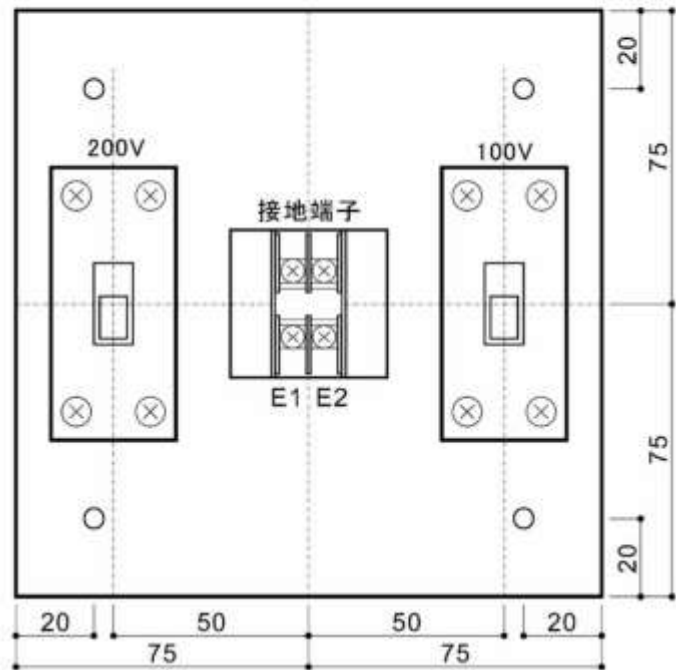
点滅器組み合わせ イ、ロ、ハ

照明器具番号 ①、②、③、④、⑤、⑥

ボックス番号 A、B、C、D、E、F、G、H、I

【分電盤機器配置図】

分電盤代用木板（ベニア板高さ：12 mm）へ下図のように配線用遮断器を取り付ける。



※ケーブル外装端が10 mm以上、木板に乗っていること。なお、分電盤内のケーブル固定はしないこと。

【材料表】 この一覧には当日変更の材料も含まれています。

No	品名	摘要	数量	メーカー及び型番
1	600V ビニル絶縁電線 黒	1.6mm	7 m	
2	600V ビニル絶縁電線 白	1.6mm	8 m	
3	600V ビニル絶縁電線 赤	1.6mm	19 m	
4	600V ビニル絶縁電線 黒	2.0mm	1.5 m	
5	600V ビニル絶縁電線 赤	2.0mm	1.5 m	
6	600V ビニル絶縁電線 緑	2.0mm	1.5 m	
7	ビニル外装 平形ケーブル	1.6mm-2C	4 m	
8	ビニル外装 平形ケーブル	2.0mm-2C	1 m	
9	ビニル外装 平形ケーブル	2.0mm-3C 赤黒緑	2 m	
10	ねじなし電線管	E19	1.8 m	Panasonic DW819K
11	ねじなしボックスコネクタ	E19用(アース端子なし)	4 個	Panasonic DS02192
12	リングレジュース	G22-G16	4 個	Panasonic DF5322K
13	絶縁ブッシング	E19用	4 個	Panasonic DS1719
14	電線管用サドル	E19用	10 個	Panasonic DS1619
15	合成樹脂可とう電線管	PF16	5 m	Panasonic DM316SRH
16	合成樹脂可とう電線管用コネクタ	PF16用	14 個	Panasonic DMP16K
17	合成樹脂可とう電線管用サドル	PF16用	24 個	Panasonic DM3916
18	中型四角アウトレットボックス	中浅型	4 個	Panasonic DS37443
19	大型四角アウトレットボックス	大深型	2 個	Panasonic DS38546
20	スイッチボックス	1 個用 (カバー別)	2 個	Panasonic DS49110
21	スイッチボックス	2 個用 (カバー別)	1 個	Panasonic DS49120
22	中型四角スイッチカバー	13 ミリカバー	2 個	Panasonic DS4611
23	中型四角丸穴カバー	13 ミリカバー	2 個	Panasonic DS4311
24	大型四角スイッチカバー	13 ミリカバー	1 個	Panasonic DS4612
25	スイッチボックス用カバー	1 個用 13 ミリカバー	2 個	Panasonic DS49111
26	スイッチボックス用カバー	2 個用 13 ミリカバー	1 個	Panasonic DS49121
27	配線用遮断器 AC100V	2P1E 20A	1 個	Panasonic BS1112
28	配線用遮断器 AC200V	2P2E 20A	1 個	Panasonic BS2022
29	端子台	2P20A	1 個	カスガ T20 C 02
30	ランプレセブタクル	6A 250V	2 個	Panasonic WW3402
31	丸型引掛シーリング	6A 125V	2 個	Panasonic WG5015W
32	引掛埋込ローゼット	6A 125V	2 個	Panasonic WG6001WK
33	引掛レセップキャップ	1A 125V	4 個	Panasonic WW3410WK
34	埋込連用 3 路スイッチ	15A 300V	4 個	Panasonic WN5002
35	埋込連用 4 路スイッチ	15A 300V	1 個	Panasonic WN5004
36	埋込連用パイロットランプ 白	100V用	4 個	Panasonic WN3031WK
37	埋込連用コンセント	15A 125V	1 個	Panasonic WN1001
38	埋込連用接地極付きコンセント	15A 250V E	1 個	Panasonic WN1112K
39	連用器具取付枠		7 個	Panasonic WN3700
40	ゴムブッシング	19mm用	1 個	ホソダ
41	ゴムブッシング	25mm用	5 個	ホソダ
42	リングスリーブ	小 (予備含む)	15 個	
43	リングスリーブ	中 (予備含む)	5 個	
44	差込型コネクタ	2 本用 (予備含む)	10 個	ニチフ QLX2
45	差込型コネクタ	3 本用 (予備含む)	5 個	ニチフ QLX3
46	差込型コネクタ	4 本用 (予備含む)	2 個	ニチフ QLX4
47	差込型コネクタ	5 本用 (予備含む)	3 個	ニチフ QLX5
48	絶縁キャップ	小 (予備含む)	15 個	カワグチ K-小
49	絶縁キャップ	中 (予備含む)	5 個	カワグチ K-大
50	ステーブル	1 号 (予備含む)	25 個	カワグチ No1
51	ステーブル	3 号 (予備含む)	5 個	カワグチ No3
52	ボディビス (皿)	4×10mm 取付枠用	18 本	
53	タッピングネジ (皿)	3.5×25mm レタブ・シーリング 他	100 本	
54	タッピングネジ (トラス)	3.5×25mm 分電盤・端子台	6 本	
55	分電盤用木板 (取付穴加工済)	150×150×12mm	1 枚	
56	電球	E26 1.4W 程度(同等品可)	6 個	

【競技規則】

1. 服装・工具

- (1) 屋内配線工事の作業現場にふさわしい作業服(安全のため長袖)および帽子を必ず着用する。
また、チョークラインやカルコを使用する墨出し作業時には、保護メガネを着用し、電線管の切断時は保護メガネと全指手袋を着用、電線管を加工する時も全指手袋を着用する。
- (2) 使用できる工具は市販品とし、一切手を加えてはならない。
常用の腰道具(ペンチ、十・ードライバー、ナイフ類、スケール、ケーブルストリッパー、ウォーターポンププライヤー、リングスリーブ用圧着工具、ヤスリ)のほかに、パイプバイス台、パイプカッター、金切りノコ、パイプベンダー(電線管に傷がつかないようにする加工可)、クリックボール、リーマ、チョークライン、下げ振り、コンパス、定規、その他必要と考えられるものを参加選手各自で準備する。
パイプベンダーの電線管に傷がつかないようにする加工は可とする。
安全作業を考慮し、ランプレセプタクルおよび露出コンセントの台座欠きに使用する欠き台は使用してもよい。(使用に迷われるものは、すべて写真を添付の上確認をお願いいたします)
- (3) その他必要と考えられるものは、作業床面の汚損等を防止する養生シート、清掃用掃除用具(手ぼうき等)、作業用踏み台または足場台などは市販品であり、材質がアルミ・軽金属、耐荷重100kg以上で作業に耐えられるもの(改造しないこと)、工具等を入れる腰ベルト、手袋、筆記用具、タオル、ウエス、チョーク等である。回路計(マルチテスター)または導通試験器については、測定の際にリード線の長さが足りないことが予想されるので、その部分の延長は可とする。
- (4) コンバックスは市販のものを使用し、課題の指定寸法の目印を付けた物(指定寸法の目印を付けた見当棒のようなものも含む)は使用禁止とする。なおスケールの個数は制限しないが、穴を開ける加工をした場合は、1個のスケールのみ穴1つまで(カルコ穴を含む)を開けても良いものとする。特に先端の加工は厳禁とする。
- (5) ボックスやサドル、その他器具等を取り付けるための位置決め治具については、大きさをA4+縦横20mmまでとし、数については1枚(個)までとする。ただし、今回の競技のみに使用するような限定されたものでなく、汎用性のあるものであること。前日準備で審査員が確認し、審査補助員がシールを貼り付ける。
- (6) 金属管を曲げ加工する際に、曲げ加工しやすくする補助パイプ、また直角を測定できるR治具(金属管、PF管、VVFケーブルに対して)は使用可とする。(ただし、目盛りが入っているものは不可)
- (7) 電線を電線管に挿入する呼び線・挿入器は短く切断して扱いやすくしたものは使用可とする、治具とはみなさない。
- (8) 作業台は、各校で準備して持ち込み願います。ただし、天板上に曲げ半径や寸法などを書き込んだり、治具を取り付けたものは使用を禁止する。ただし、天板上の下端や横端に直角曲げ確認のためのガイドを取り付けることは、他の課題にも汎用性があるとみなし例外とする。
- (9) 万一の誤照射を防止するうえでレーザー光を照射する工具を使用することはできない。
- (10) 競技者が工具等を使用する場合、商用電源(コンセント等)の使用は禁止する。電池式(バッテリー)電動工具の使用は許可する。
- (11) 回路計や市販の導通試験器は使用できるが、バッテリー電源を昇圧するなどして直流からAC100[V]に変換出来る導通試験器は使用禁止とする。
- (12) 競技前日に競技委員が工具等を見て回り、工具等への寸法の書き込み等(治具と)認められた場合には、使用禁止となる。万一、前日の工具点検等で見落等があり競技中に選手が使用して審査員に発見された場合、競技中であっても使用の禁止を命ぜられるか、減点の対象となるので、疑わしい治具は競技前日の打合せ・準備の時間を利用して競技委員に問い合わせること。
- (13) 選手が持ち込んだ治具を確認して使用の不可を判断する場合もあるので疑わしい治具は事前に事務局に問い合わせること。(今回の競技課題しか使用出来ない治具など)

2. 競技

- (1) 競技は、指定された作業板(パネル)の上に屋内配線工事を施工して、その技術の優劣を競う。
なお、作業板(パネル)は必ずしも水平垂直が取れているとは限らない。
- (2) 作業エリアは、概ね縦 2,700 mm × 横 1,800 mm 相当である。
- (3) 競技時間は清掃する時間を含めて 150 分とする。標準時間内に作業を終了し同点となった場合は、作業時間の短い競技者を上位とする。
- (4) 競技に使用する材料は、競技課題の材料表に示すものを主催者側で準備する。用意された材料以外のものを使用してはならない。また、材料によっては多めに配布されているものもある。
- (5) 競技中に材料の追加・交換等の必要が生じた場合は、審査員または審査補助員に申し出ることができる。ただし、原

点の対象とする。なお、予備は用意するが数量に限りがあるので必ずしも交換出来るとは限らない。

- (6) 競技開始後は、工具を追加して持ち込んで서는ならない。やむを得ず追加しなければならない場合は、審査員または審査補助員に申し出てその指示によって行動する。その際の所要時間は作業時間に含まれる。
- (7) 競技中に、工具等を他の選手との間で貸し借りしてはならない。
- (8) 競技開始後は、各自の作業エリアから離れてはならない。離れる必要が生じた場合(トイレ等)は、審査員または審査補助員に申し出てその指示によって行動する。その際の所要時間は作業時間に含まれる。
- (9) 競技中に、他の選手に迷惑の及ぶような行動があってはならない。このような行為があった場合は、状況によっては競技の中止を命じられることがある(その際は失格扱いとなる)。
- (10) 作業床面等を傷つけたり汚したりしないように、特に注意すること。金属管の曲げ加工は床養生用の合板上で行うこと。万が一床面を傷つけた場合は減点対象とする。搬入時も十分注意すること。
- (11) 競技終了報告は、選手が拳手して「作業終了しました」等の自己宣言により終了したと見なし計時する。競技終了後、競技者と審査員の両者立会いの下で、点滅器(スイッチ)、配線用遮断器等の向きについて、印をつける。
- (12) 公平を期すために、大会当日配布した以外の課題図面およびメモ用紙などの持ち込みは禁止する。
- (13) 安全に留意して作業すること。工具や材料を口にくわえての作業は行わないこと。
- (14) 飲料水の持ち込みは制限しない。
- (15) その他、競技中に生じた事項は必ず審査員または審査補助員に申し出ること。
- (16) 今大会は、新型コロナウイルス感染症対策の為、原則的に会場校内でマスクを着用しなければならないが、競技中に競技エリア内であればマスクを外して構わない、ただし、審査員または審査員補助に話しかける際は、マスクを着用すること。(スポーツマスク、ウレタンマスク可)
- (17) 作業エリア外に誤って物が落ちた場合には、必ず審査員または審査補助員に申告し、許可を得てから処理をすること。許可なくエリア外へ出た場合は、減点対象とする。

【審査について】

1. 採点方法

- ① 持ち点100点からの減点法で実施する。
- ② 審査員および各パネルに配置された審査補助員にて、採点を行う。

2. 採点項目

公開する採点表を参照のこと。

【電気工事部門担当者連絡先】

長崎県立大村工業高等学校 電気科 前田 隆幸

電話:0957-52-3772

FAX:0957-52-3720

E-mail:  maeda8176@news.ed.jp

※問い合わせについては、所定の様式を用いて E-mail でお願いします。

【令和4年7月9日(土曜日)】

準備 F 材料配布及び材料確認 材料展開について

- ・ 作業エリアの横に置いてある材料の確認を行ってまいります。
- ・ 材料表をバインダーに挟み、各作業板ごとに渡します。
- ・ 材料搬入時におけるいづれの材料についても、踏みつけによる破損や、各自の不注意における破損については減点の対象となりますので、十分に注意して行ってください。
- ・ 材料確認時には電動工具を使っての確認は禁止します。
- ・ 確認後に、材料確認表にゼッケン番号、県名、氏名等を記入してください。

① プレーカー

- ・ 小箱から出して構いません。小袋に入っているビスや端子カバーも小袋から出して構いません。プレーカーのビスが回ることを確認してもらって構いませんが、確認後はビスを元の状態に戻してください。

② レセプタクル・露出コンセントについて

- ・ カバーを外して、真鍮ビスも回ることを確認して構いません。最終的には、ビスやカバーを元の状態に戻してください。

③ ボックスコネクタのロックナット、キャップについて

- ・ ロックナットについては、回ることを確認していただいて構いません。
- ・ PF 管コネクタは、元の状態(接続の位置)に戻してください。
- ・ 半透明のキャップは元の状態にしてください。

④ アウトレットボックスのカバー取り付けビスについては、確実に付いていることを確認してください。

- ・ ビスが回ることも確認してもらって構いません。確認後、元の状態にしてください。

⑤ 小物については、すべて袋に入れて渡します。

- ・ 袋から出し数量を確認した上、袋に戻してください。

⑥ 電線・ケーブルについて

- ・ 傷等について確認してください。
- ・ 作業台にかける等、各自で準備していただいて構いませんが、その後に傷等の申告をしても受け付けません。

※ すべての材料について確認が終わりましたら、ダンボール箱に入っていた材料はすべてダンボール箱に戻してください。支給された材料以外のものは、ダンボール箱に入れてはいけません。

※ 不要なゴミは審査員補助が回収します。審査員補助に渡してください。

※ 確認終了のサインをして、材料表をバインダーごと回収します。

この材料展開時の禁止事項

- イ ケーブル・電線へのマーキング
- ロ 電線・ケーブルを延ばす行為
- ハ 埋込器具の上に、金枠を乗せる
- ニ 上記①～⑥に抵触する行為

【令和4年7月10日(日曜日)】 (大会当日)

競技開始～終了後までの流れについて

- ・電気工事部門受付 教室棟3階 化学工学科1年 教室前廊下
- ・電気工事部門会場(開・閉会式会場) 教室棟3階 化学工学科1年 教室
- ・電気工事部門競技会場 実習棟3階 電気磁気実習室

学校入口にて、検温

7:20 解錠

電気工事部門受付(化学工学科 1年 教室前廊下)にて、手指消毒・検温を行います。
 バッテリー等の持ち出し品を競技会場(電気磁気実習室)のエリアに搬入する場合は、必ず担当の運営委員同伴の上行ってください。用事が済み次第、電気工事部門会場(化学工学科 1年 教室)に戻ってください。

8:20 競技会場(電気磁気実習室)へ、案内します。廊下に整列してください。

8:30	① 課題打ち合わせ	<p>イ 選手および審査員・運営委員は通路より、競技会場の打ち合わせ席に着席してください。</p> <p>ロ 本大会で使用する課題図を配布します。配布後は、競技会場外で引率の先生と打合せを行ってください。</p> <p>ハ 配布された課題図は、引率者用となります。選手はメモを含み、再集合の際には競技会場へ持込厳禁とします。</p> <p>ニ 作業板①の選手に、ボックス内接続について抽選を行ってもらいます。</p> <p>ホ 作業板②の選手に、電灯の点滅方法について抽選を行ってもらいます。</p> <p>ヘ 再集合時間を、9時20分とします。その際には、競技に出場できる準備をすべて整えて集合してください。(飲料水・雑巾等の搬入もこの時にお願いします)</p> <p>ト 再集合時には、筆記用具を持参してください。(シャープペンシル・ボールペン・カラーペン・消しゴム等)</p>
9:20	② 再集合 抽選・確認	<p>イ 競技会場に入室します。打ち合わせ席で新しい課題と課題図面を配付します。</p> <p>ロ その後は、待機エリアへ移動する9時28分まで各自で課題図面に書き込んでもらって構いません。(作業手順や複線図・様々な寸法等々)</p> <p>ハ 作業手順等の準備が済みましたら、作業エリアへ移動します。</p> <p>ニ 審査員補助立ち合いの元、バッテリー装着および持出品、作業エリアの準備を行ってください。</p> <p>ホ 配布された課題も好きな位置に置いて構いません。</p> <p>ヘ 材料をダンボール箱から出してはいけません。</p> <p>ト 引率の先生方で、ビデオカメラの設置を希望される方はこの時間に指示しますので、準備をお願いします。</p> <p>チ 選手は2分前までに待機エリアに移動してください。</p>
9:28	③ 待機エリアへ 移動	<p>イ(2分前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手は選手待機エリアにて、合図を待ってください。立っていても座っていても構いません。 ・腰道具・防護めがね・全指手袋は着用可としますので、前日準備の最後に選手待機エリアに準備しておいてください。 ・選手は、ストップウォッチ以外は手に持ってはいけません。 <p>ロ (1分前)→(30秒前)→(10秒前)→5・4・3・2・1ブザーで開始の合図とします。</p>
9:30	④ 競技	<p>イ 競技途中の時間のお知らせは、1時間経過時→残り30分→残り10分です。</p> <p>ロ 競技開始時は窓を閉め、30分経過後窓を開けます。※この間の墨付けをお勧めします。</p> <p>ハ カウントダウンタイマーは、タイマの制約上、開始直後は60分のカウントダウン、その後自動で90分のカウントダウンで動作します。</p> <p>ニ 60分経過時と終了時にブザーが鳴ります。</p> <p>ホ 材料が入っていた段ボール箱が不要の時は、審査員補助に不要の旨を申し出て、段ボール箱を作業エリアの外に出してください。審査員補助が回収します。</p> <p>ヘ 時間内に終了した選手は、審査員補助に終了宣言をしてください。</p> <p>ト 競技を終了した選手は、エリア後方に用意している待機エリアの椅子に座って指示を待ってください。</p>
12:00		

12:00	⑤終了後	<p>イ 競技終了のブザーが鳴りましたら、選手立ち合いの元、審査員にて、ブレーカーおよびスイッチの倒し方向についてドットシールを貼り付けます。</p> <p>ロ 審査員立ち合いの元、ドットシールを貼り終わった選手は引率の先生立ち合いの元、写真撮影を行い、持込工具・作業台を競技会場外に搬出をお願いします。</p> <p>※上記時間に作品に触れたり不正行為があった場合、失格とします。</p> <p>ハ 持込工具・作業台の搬出後は、各県に割り当てられている教室で待機してください。</p> <p>※審査が早く終了した場合、時間を早めて閉会式を開始いたします。</p>
-------	------	--